



表現で人の心を動かそう

eisū 文芸カップ2019

7部門の入賞者決まる

応募は1万1000点

自分の考えやアイデアを表現し、人の心を動かすことを目指すイベント「eisū 文芸カップ2019」の本選が3日、三重県菟野町で開かれました。小学生から高校生まで55人が、自分の作品などを表情豊かに発表し、表彰式では金・銀・銅賞などが贈られました。

同カップは、学習塾「eisū」(総本部・三重県津市)が主催し、毎日新聞社などが後援しています。それぞれ創造性を発揮できるように

と、「文芸コンテスト」に「日本語弁論」「イメージアート」「物語」の3部門、「英語スピーチコンテスト」に「英語スピーチGrade1」「英語スピーチGrade2」「ロールプレイ」「英語弁論」の4部門があります。予選には、合計1万1000点の作品が寄せられました。

「物語部門」は「〇〇が止まらない」か「100年後の世界を見たぼく(わたし)」のいずれかを選び、新しい物語を作るものです。



文芸コンテストの受賞者と審査員ら



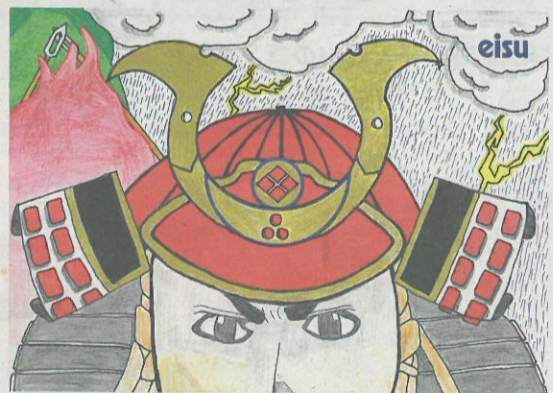
英語スピーチコンテストの受賞者と審査員ら

伝統工芸の置かれた状況を絵で示しながら、熱弁をふるい金賞を受賞した鈴木梨史さん



金賞を受賞した三重県菟野町立朝立小6年、早野花歩さんの作品は、自分には何の取りえもないと思

イメージアート部門で金賞を受賞した「夢・まぼろしのごとく」



らいてできるようになっていて、「だれも何もがんばらなくなって」いました。主人公は「みんな平等に不平等で、幸せなんだ」と気づきます。

英語スピーチコンテストでは、毎小で「アルパカかあさんのモフモフ English」を連載(毎週金曜、一部地域は土曜)するデイビッド・セインさんも特別審査員を務めました。

「eisū」代表の山本千秋さんは「子どもたちはちょっとしたきっかけでぐんと成長します。主体的に行動し、表現する力を子どもの中から培っていきけるような場をこれからもつくりたい」と話しました。

主な入賞者は次の通り。(敬称略)

文芸コンテスト

【日本語弁論部門】金賞 鈴木梨史(三重県・セントヨセフ女子学園高1年) 銀賞 佐脇彩夏(三重県四日市市立笹川中3年) 銅賞 安藤澄吾(同志摩市立文岡中3年) 毎日新聞社賞 賀川幸(愛知県名古屋市立浄心中3年)

【イメージアート部門】金賞 谷嘉紋(三重県松阪市立殿町中3年) 銅賞 叶優梨(同四日市市立常磐西小2年) 毎日新聞社賞 中川さくら(神奈川県横浜英和小6年)

【英語スピーチ部門 Grade 1】金賞 西村幸蘭(三重県四日市市立内部東小5年) 銀賞 奥井千寛(福岡県・福岡雙葉小5年) 銅賞 津田かのん(東京都港区立弁小6年) 毎日新聞社賞 胡胡(三重県・暁中1年)

【ロールプレイ部門】金賞 浜田侑杜(三重県津市立西が丘小4年)、浜田憲佑(同津市立橋北中1年) 銀賞 奥井彰穂(福岡県・福岡雙葉小2年)、奥井千寛(同・福岡雙葉小5年) 銅賞 増田帆荷(三重県四日市市立海蔵小2年)、和気愛紘(同伊勢市立有緒小2年) 毎日新聞社賞 川西晴夏(東京都小3)、長谷川沙衣(同小3)

【物語部門】金賞 早野花歩(三重県菟野町立朝立小6年) 銀賞 松本紗和(同菟野町立竹永小4年) 銅賞 鈴木杏(同明和町立下御糸小4年) 毎日新聞社賞 奥村碧(同伊勢市立浜郷小6年)

【英語弁論部門】金賞 早下雄貴(東京都・芝高3年) 銀賞 吉川孟(長崎県・青雲高3年) 銅賞 大内亮(千葉県・渋谷教育学園幕張中2年) 毎日新聞社賞 田中理子(東京都・白百合学園中3年)

【英語スピーチコンテスト】

【英語スピーチ部門 Grade 1】金賞 次田陽之進(岡山県・朝日塾小2年) 銀賞 西